



## 専門職大学院

Aoyama Gakuin  
Professional Graduate School



法務研究科  
(青山キャンパス大学3号館：手前)  
会計プロフェッション研究科  
(青山キャンパス大学16号館：奥)

<http://www.aoyama.ac.jp/>



国際マネジメント研究科(青山キャンパス大学5号館)

## 「マネジメント」「法」「会計」の3分野において 新しい時代を創造する高度専門職業人を育成。

都心に位置する青山キャンパスに設置された3分野の専門職大学院は、職業倫理を重視したプロフェッション教育を徹底するとともに、科目の相互履修や教員や学生の交流も積極的に展開。グローバル社会のニーズに応える付加価値の高い教育環境の実現を図っています。

### 都心のキャンパスの地の利を生かし、 実践的かつ高度な専門職業人教育を展開

#### 国際マネジメント研究科

社会的責任を果たし  
地球市民として活動する  
創造的ビジネスリーダーを養成

キリスト教の理念に基づいて、高い倫理観と国際的視野を身につけた企業家精神に富む人材を養成することを目的としています。

●国際マネジメント専攻(専門職学位課程)  
「グローバルに活躍できる経営プロフェッショナル」を養成するMBAプログラムです。海外の一流ビジネススクールに準じたカリキュラム体系のもと、ビジネスの基礎理論を体系的に身につけた上で、自分の専門性を深めることができます。講義だけでなく、討論、ケースメソッド、プロジェクト学習などの授業を効果的に組み合わせており、海外ビジネススクールとの合同授業や海外MBA学生との交流の機会も提供しています。

●国際マネジメントサイエンス専攻(博士課程)  
「国際的、実践的なビジネス研究者」を養成する博士課程で、学位取得者を対象とする5年一貫制のPh.D.プログラムと修士・MBA取得者を対象にした3年間のDBAプログラムがあります。DBAプログラムは、「企業等で働く実践的研究者の育成」を目的としており、企業等に勤務しながら、博士課程に通うことができます。



MBA特別フォーラム

#### 法務研究科(法科大学院)

法律基本科目を強化し、  
要件事実・事実認定論を重視  
ヒューマニティ豊かな

社会的責任を果たせる法曹を養成  
法律の専門家である法曹を養成する専門職大学院として、司法試験合格を目指すことはいままでもありませんが、スクール・モットーであるキリスト教理念「地の塩、世の光」に則り、とりわけ社会的弱者にやさしいまなざしを向け、人と社会に対する責任を進んで果たす、ヒューマニティにあふれた法曹を養成することを使命と考えています。

法学未修者向けの3年制標準コースおよび法学既修者向けの2年制短縮コースを設けています。標準コースには、文系・理系と様々なバックグラウンドを持った学生を受け入れています。法知識を正確にしかも深く理解してもらうために、基本から応用に至るまで系統的な科目編成をしています。思考力・表現力を養う演習も充実しています。「理論と実務を架橋する」ため、模擬裁判・エクスターンシップを設けるほか、民事・刑事法では要件事実・事実認定論を重視しています。法曹倫理、公益弁護活動論といった科目を設けてプロフェッション性を育て、EU法など国際感覚を育む科目も豊富に開設しています。



模擬法廷

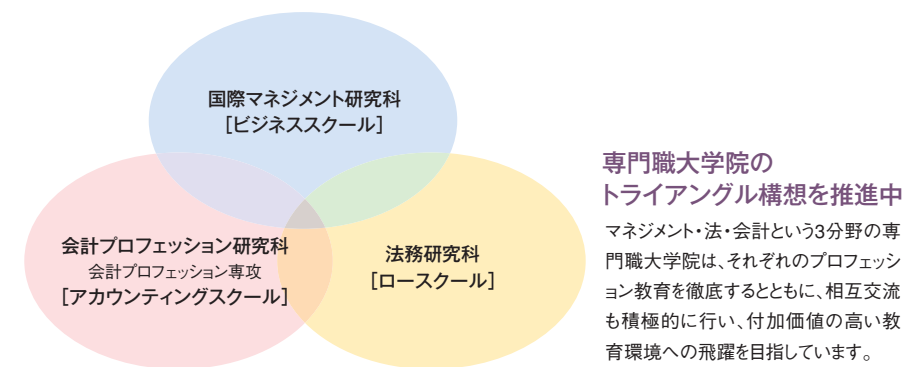
#### 会計プロフェッション研究科

国内外の幅広いステージで活躍できる  
会計プロフェッショナルを育成  
会計プロフェッション専攻  
(専門職学位課程)

キリスト教理念に基づく[倫理教育の徹底]による健全な会計マインドと国際感覚を養い、時代のニーズに応える会計プロフェッショナルを育成します。公認会計士・税理士資格の取得を目指す人だけでなく、会計に関わる多様な専門知識に対する修得希望者を想定し、8分野から構成される多くの科目を配置し、多彩な即戦力のある学びを実現しています。

#### プロフェッショナル会計学専攻 (博士後期課程)

会計理論と会計実務の融合を目指して博士後期課程「プロフェッショナル会計学専攻」を設置しています。会計専門職大学院などで会計プロフェッション教育にあたるのが可能な能力を有する教員および社会の各分野で高度な実務性のある研究能力によって経済社会の発展に寄与する会計プロフェッショナルの育成を目指します。博士レベルの高度な理論および実務研究に取り組みたいという大学院生のほか、公認会計士や会計業務のキャリアを有するビジネスマンおよび公務員など社会人にも広く門戸を開いています。



### 主な研究施設

大学附属 情報科学研究センター	青山学院の情報分野の研究水準を高め活性化することを目指し、常に情報インフラの整備、教育・研究システムの拡充を図り、様々な情報教育・研究環境を提供しています。さらにそれらを効率的に活用するための支援業務を行っています。また、日々進化する情報化社会を見据え、今後取り組んでいくべき研究テーマの先行研究を積極的に行っています。現在は、基幹ネットワークシステム、教育研究システムの2つのシステムを運用しています。
総合研究所	学際的研究を重視する運営体制により、多彩な領域間の共同研究を中心に、受託研究、国内外の大学・研究機関との活発な研究交流を推進し、多数の研究成果をあげています。eラーニング関連の研究においては、国の事業に参画するなど、この分野をリードする存在です。
社会連携機構	<p><b>社会連携研究センター (SACRE)</b>          本学の立地する渋谷・原宿・青山地域と協働しながら、次の4つの基本方針のもと、都市・環境や文化の創造・発信にかかわる研究・教育・事業等に取り組んでいます。          1. 地域やメディアから寄せられる要望等に、真摯かつ迅速に対応する。          2. 本学の研究的蓄積を活かし、自ら地域の課題を発見して解決を図るとともに、メディア等を通じて発信する。          3. キャンパス周辺地域の学園都市としての環境整備や、イベント等を通じた文化発信に貢献する。          4. 上記を通じて、本学の研究・教育プログラムの現代化に資する。</p> <p><b>WTO研究センター (WRC)</b>          グローバリゼーションの下で、WTO(世界貿易機関)下の自由貿易体制にかかわる国際経済・通商・環境分野の多様な問題を民間シンクタンクとは異なる独自のスタンスから調査・研究しています。          関連省庁や企業リーダー、環境NGO、国内外の研究者を招いた国際シンポジウムや国際連合大学高等研究所と共催で学術シンポジウムを開催するなど、研究成果を広く社会に還元していることも特色です。</p> <p><b>ヒューマン・イノベーション研究センター (HIRC)</b>          あらゆるコミュニティや産業界において知的創造環境づくりを担う「人材育成」のために、情報通信技術 (ICT) を効果的に活用し、世界に通用する研究・教育の質向上を実現する拠点として「Aoyama HIRC」を設置しました。特に、国際社会や産官学との積極的な連携を通じて、「教育機関、公益・非営利団体、企業において、組織学習アプローチによる知的創造環境(場、仕組み)のデザイナー、プロデューサー」の育成を目指します。</p> <p><b>国際交流共同研究センター (JRIPEC)</b>          本学として初めて学外の機関である国際交流基金との連携によって、国際交流に関する理論と政策の分析と評価、および国際交流についての教育やその技法の開発等を研究する、国際交流共同研究センターを2008年4月に開設しました。同センターは、平和構築における文化の役割や地方の地域活性化と国際交流などの研究を始めており、定例研究会も開かれています。研究紀要としてPeace and Cultureが刊行されています。</p>
附置研究施設	学部・研究科附置の研究施設があり、各分野の先進的な研究活動に取り組んでいます。

#### (青山キャンパス)

- 大学附属外国語ラボラトリー
- 経済研究所(経済学部附置)
- 判例研究所(法学部附置)
- グローバル・ビジネス研究所(経営学部附置)
- 国際研究センター(国際政治経済学部附置)
- 青山コミュニティ・ラボ(総合文化政策学部附置)
- 心理相談室(文学研究科附置)
- ビジネスロー・センター(法学研究科附置)
- 国際マネジメント学術フロンティア・センター(国際マネジメント研究科附置)
- 会計プロフェッション研究センター(会計プロフェッション研究科附置)

#### (相模原キャンパス)

- 先端技術研究開発センター「CAT」(理工学部附置)
- 機器分析センター(理工学部附置)
- 社会情報学研究科(社会情報学部附置)

